

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

平成 30年 05月 08日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 辻 井 昭 雄 様

所属 部 局 情報学研究科・数理工学専攻

職 名 助教

氏 名 Shurbevski Aleksandar (シュルベフスキ アレクサンダル) ㊞

助 成 の 種 類	平成 29年度 ・ 研究活動推進助成			
申 請 時 の 科 研 費 研 究 課 題 名	協調的ルーティング問題に対する新規モデルと解法の構築			
上記以外で助成金を充当した 研 究 内 容				
助 成 金 充 当 に 関 わ る 共 同 研 究 者	(所属・職名・氏名)			
発 表 学 会 文 献 等	<p>[1] JCDCG3(東京理科大学2017年9月1日), H. Suto, A. Shurbevski, H. Nagamochi, "The Stable Roommates Problem with Unranked Entries"</p> <p>[2] 第164回アルゴリズム研究発表会(京都大学2017年9月19日), M.S. Othman, A. Shurbevski, H. Nagamochi, "Approximation Algorithms for the Traveling Salesman with a Drone"</p> <p>[3] IEICE TRANSACTIONS on Information and Systems, Vol.E101-D, No.3, pp.611-612, M.S. Othman, A. Shurbevski, H. Nagamochi, "Polynomial-Space Exact Algorithms for the Bipartite Traveling Salesman Problem"</p>			
成 果 の 概 要	研究内容・研究成果・今後の見通しなどについて、簡略に、A4版・和文で作成し、添付して下さい。(タイトルは「成果の概要/報告者名」)			
会 計 報 告	交 付 を 受 け た 助 成 金 額	770,000 円		
	使 用 し た 助 成 金 額	770,000 円		
	返 納 す べ き 助 成 金 額	0 円		
	助 成 金 の 使 途 内 訳	費 目	金 額	
		国内学会参加費	31216	
海外学会参加の旅費		51526		
海外学会参加費		31888		
	海外学会参の旅費	655370		
当 財 団 の 助 成 に つ い て	この助成金により国内外学会に参加し、他の研究者と情報と意見を交換することができました。今後は助成期間中に得られた成果を深化させ、発表するように進行したいと存じます。			

平成 29 年度 研究活動推進助成 成果の概要

情報学研究科数理工学専攻 助教 Shurbevski Aleksandar

研究助成をうけて、3回の国内学会、2回の国際学会に出席し、短期間の海外訪問を行うことができました。

参加した国内学会は以下の通りになります：

(1) The Japan Conference on Discrete and Computational Geometry, Graphs, and Games (JCDCG3), 2017年8月29日-9月1日, 東京理科大学神楽坂キャンパス;

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017年秋季研究発表会, 2017年9月14-15日, 関西大学千里山キャンパス;

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2018年春季シンポジウム&研究発表会, 2018年3月14-16日, 東海大学高輪キャンパス.

学会(1)は非常に有名な会議であり、国内外からも大手な研究者が参加くださります。須藤浩明と永持仁と共同の“The Stable Roommates Problem with Unranked Entries”の発表を行い、厳密なコメントを受け取りました。以上の発表内容を論文化し、査読を受けてIEICE TRANSACTIONS on Information and Systems (電子情報通信学会論文誌)に出版される予定があります(9月見込み)。

海外に参加出来たの学会は以下になります：

(4) 2nd Macedonian Workshop on Graph Theory and its Applications, 2017年8月14-18日, オフリド, マケドニア;

(5) The 12th International Conference and Workshops on Algorithms and Computation (WALCOM 2018), 2018年3月3-5日, ダカ, バングラデッシュ.

学会(4)の契機で、学会の直後に短期間の海外訪問を行いました。スコピエ、マケドニアにある「聖キリル&メトディ」大学のアンドヴァ・ヴェスナ助教の招待で2017年8月19-26日の間打ち合わせと議論を行いました。グラフのモデル化に対して情報と意見を交換のうえ、将来に共同研究が行われると期待します。